

ネットワークソリューション事業 中期戦略

2023年6月12日

NECネットエスアイ株式会社

(銘柄略称:NESIC 証券コード：1973)

執行役員常務

野口 亨史

自己紹介



野口 亨史 (のぐち ゆきのぶ)

執行役員常務
兼 ネットワークソリューション事業本部長

略 歴

- 1987年 当社入社
- 国内/海外向け局用交換機構築からNWソリューション関連事業のSE業務を経て、キャリア/社会基盤事業における企画部門の責任者までを幅広く歴任
- 2023年から、現職

ネットワークソリューション(NWS)事業の概要



事業 ビジョン

私たちは海底から宇宙まで、
高度かつ特殊なつなぐ技術を最適な形で提供し、
より安全で利便性の高いデジタル社会の実現に貢献します。

キャリア関連事業

主要顧客／市場

- 通信事業者
- NCC
- プロバイダ

事業の強み

- 先端技術力 (NW/IT/セキュリティ etc.)
- マルチベンダーSI力
- 無線技術力 (Wi-Fi、4G/5G/ローカル5G etc.)

社会基盤事業

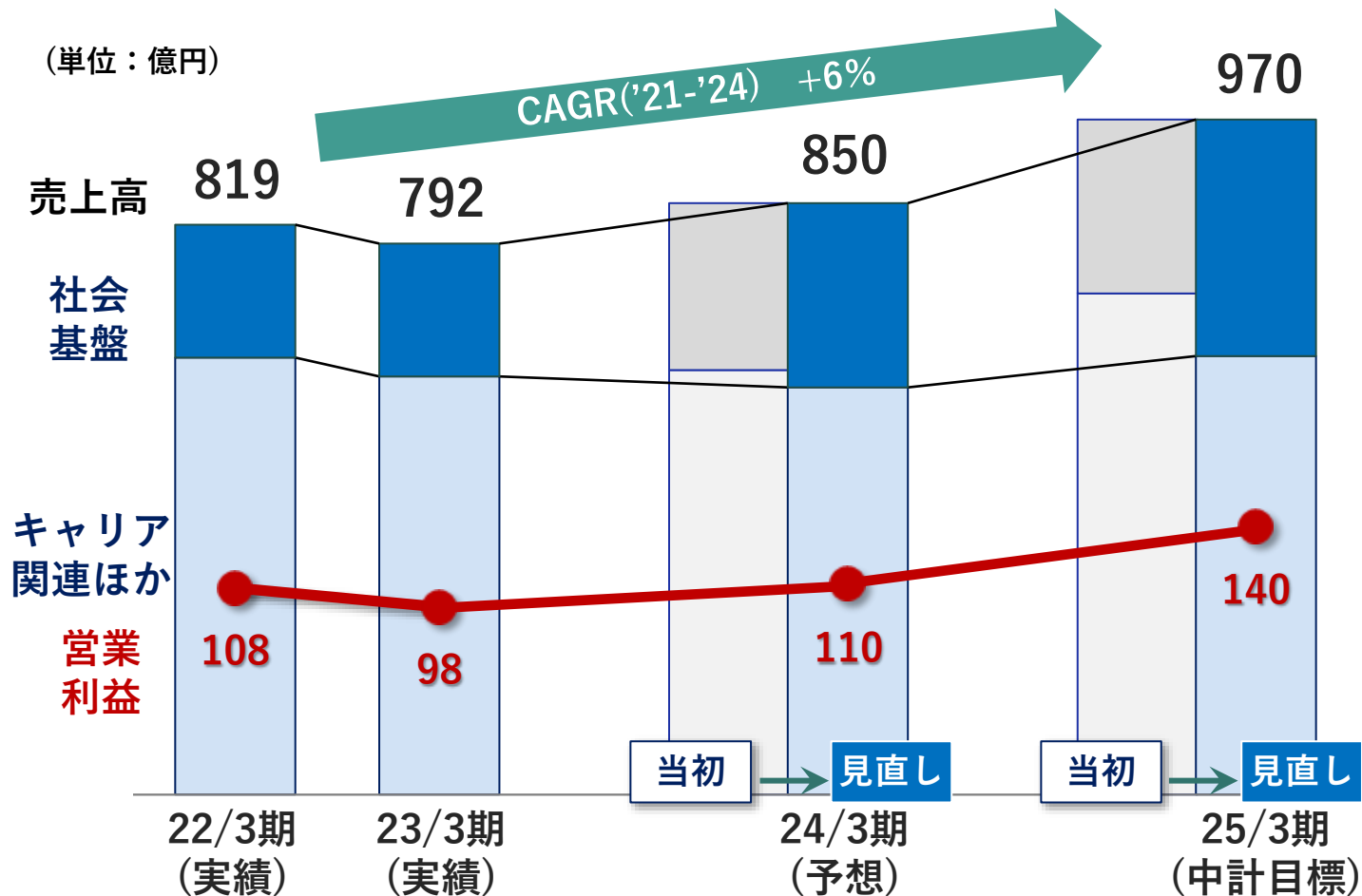
- 宇宙・防衛
- 海洋
- メディア

- NEC連携による業種ノウハウ
- 長年培った顧客基盤
- 専門技術力 (衛星通信、海洋通信/観測 etc.)

中期経営計画と業績進捗(NWS)

通信事業者の投資抑制やローカル5G 社会実装の遅延が顕在化、投資が拡大している社会基盤事業を強化し中計目標達成を目指す

(単位：億円)



成 果

- 宇宙・防衛
NW/IT-SI領域へ参入
- 海洋
風力発電 電力ケーブル陸揚げ管路工事
初受注に加え商談活発化

課 題

- キャリア関連事業
投資継続領域へ対応SL拡充
- 社会基盤事業
技術転用による領域深耕と人材育成

キャリア関連事業

事業環境は厳しいものの投資継続領域への対応を強化し 事業成長の維持/拡大

事業環境

通信事業者は引き続きインフラ投資抑制

但し、**法人サービス**、**NW強靱化**、**運用効率化**等、事業課題への投資は継続

インフラ事業

投資継続/拡大領域へ注力

メガ
キャリア

KNSIと連携し
運用効率化SLの提供

NCC

トラフィック増大対策
(光NW強化)

ローカル5G

高セキュリティ/安定性が求められる
ミッションクリティカル領域から先行導入

発電所



鉄道



空港/港湾



医療



etc.

キャリア関連事業：ローカル5G社会実装に関する事例

重要インフラにおける自動運転、ロボット遠隔制御、 高精細映像などの期待大

① 発電所



- ・ドローンの遠隔操作
- ・高精細映像監視

低遅延

高速/大容量

② 鉄道



- ・沿線内 異常物検知
- ・遠隔リアルタイム通信

セキュリティ

低遅延

③ 空港/港湾



- ・物流業務効率化/自動運転
- ・映像フィジカルセキュリティ

セキュリティ

高速/大容量

④ 医療



- ・医療ロボット 遠隔制御
- ・救急車からの高精細映像

セキュリティ

対干渉性

社会基盤事業：事業環境

海洋

- **トラフィック増大対応(NW強靱化)に加え、安全保障領域に関する海洋関連予算(文科省/経産省/国交省 等)が拡大**

- ・ 海洋関連予算(内閣府)

2023年度 **9,023億円**(2022年度補正含む) (前年度比 **23.8%**)

- ・ デジ田 デジタルハイウェイ(総務省)

2023年度 **500億円**

- ・ 海底ケーブルグローバル市場規模

2025年度 \$30億(≒ **4,200億円**)

宇宙・ 防衛

- **安全保障/宇宙分野予算の増加により市場が活性化**

- ・ 防衛関係費(防衛力抜本的強化「元年」予算)

2023年度 **6.6兆円** (前年度比 **27.4%増**)

- ・ 宇宙関係(安全保障／国土強靱化に重点)

2023年度 **6,119億円** (前年度比 **17.0%増**)

社会基盤事業：海洋

50年以上にわたる海洋の経験と技術力を活かし 新たに広がるマーケットへ展開

既存事業

NEC連携で培った
大型PJのマネジメント力

観測

システム開発

- ・地震予知
- ・海底通信拡張装置

通信

システム構築

- ・ルート調査
- ・陸揚げ局構築
- ・通信ケーブル敷設

新市場の広がり

24年度
市場規模

- 国土強靱化(防災/減災)
- 資源探査/海中監視拡大

2,000億円

文科省/経産省他

- 海底ケーブル多ルート化
- 陸揚げ局の防護/多地域化

500億円

総務省

- グローバルトラフィック増対応
(長距離化/多芯化)

1,000億円

主に民間

新事業への取り組み

新観測システム開発/展開

(海底資源開発研究へ参画)

構築ノウハウ活用 直販拡大

(洋上風力発電市場展開)

NEC連携 グローバル拡大

(調査/敷設から運用領域へ)

社会基盤事業：海洋観測/通信システムの事例

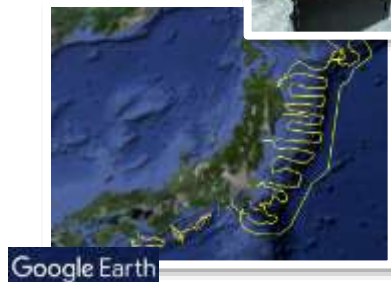
NEC連携で培った『国内Only One 海洋一気通貫対応』実績

海底地震津波観測網整備

当社開発『海底観測システム』の活用



- 観測システム開発
- 設置個所調査/工事
- ケーブル敷設
- 陸上局構築
- 陸上/海底 保守運用

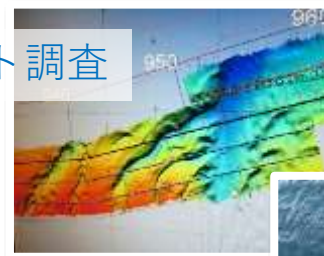


情報収集能力 高度化への対応

大型海底ケーブル敷設PJ参画

国内からグローバルまで 海洋の『総合PJマネジメント』

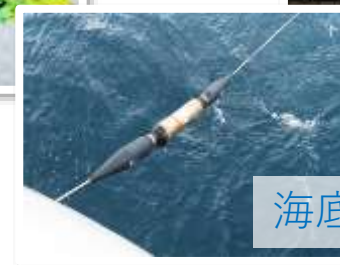
ルート調査



陸揚げ工事



海底ケーブル敷設



洋上風力発電等 新領域へ展開

社会基盤事業：宇宙・防衛

安全保障分野/国土強靱化の追い風をベースに事業展開を加速

既存事業

事業拡大ポイント

NEC独自製品の 施工/構築/運用

- ・アンテナ
- ・管制設備
- ・防衛独自製品
- ・地上局監視
- ・運用保守

NEC注力領域

高度セキュリティ/ICT

『国家安全保障戦略』
防衛力強化

新規参入領域

宇宙関連民間活用

× キャリア技術の転用

× NEC開発連携による
製品ノウハウ

× マルチベンダースキル

NW/IT-SI
新領域への参入

既存領域における
事業深耕

設計から運用まで
ワンストップ提供

社会基盤事業：宇宙・防衛(衛星/地上)の事例

地上局から衛星まで、一気通貫対応での官民幅広い実績

地上

地上局設計/構築
ロケット発射支援(監視運用)



種子島
宇宙センター

テレメータ
アンテナ
小笠原追跡所



管制

計画策定/動作検証/基盤構築



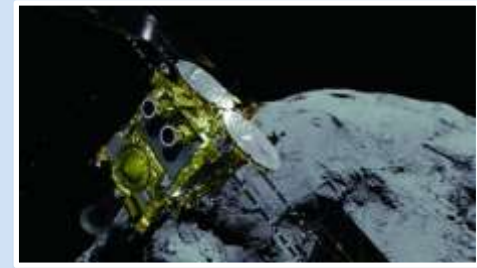
総合指令棟
管制室

ISS実験棟
きぼう



衛星

設計・開発・衛星運用



はやぶさ2

陸域観測
技術衛星



画像提供：JAXA

事業を支える人財、安全・品質、生産性向上

● DX・次世代NW技術者の育成

AI・IT技術、データを活用し、
様々な課題解決するDX人材

人財育成

● 25/3期 高度・専門人材

目標：750人 (23/3期差：124人)

- ・ DX人材 : 50人 (+ 29人)
- ・ 次世代NW人材 : 700人 (+ 95人)
 - PM人材 : 270人 (+ 30人)
 - NWエンジニア : 430人 (+ 65人)

(海洋、宇宙・防衛、キャリアNW)

安全・品質
Safety2.0の実現

生産性向上

● 安全品質向上

DX活用による安全・品質
(データ活用、遠隔管理、AI判定)

● DX活用による効率化推進

AI/自動化による業務効率化とデジタル
リテラシ向上による戦略スタッフ化

\Orchestrating a brighter world

NEC

NECネットエスアイ